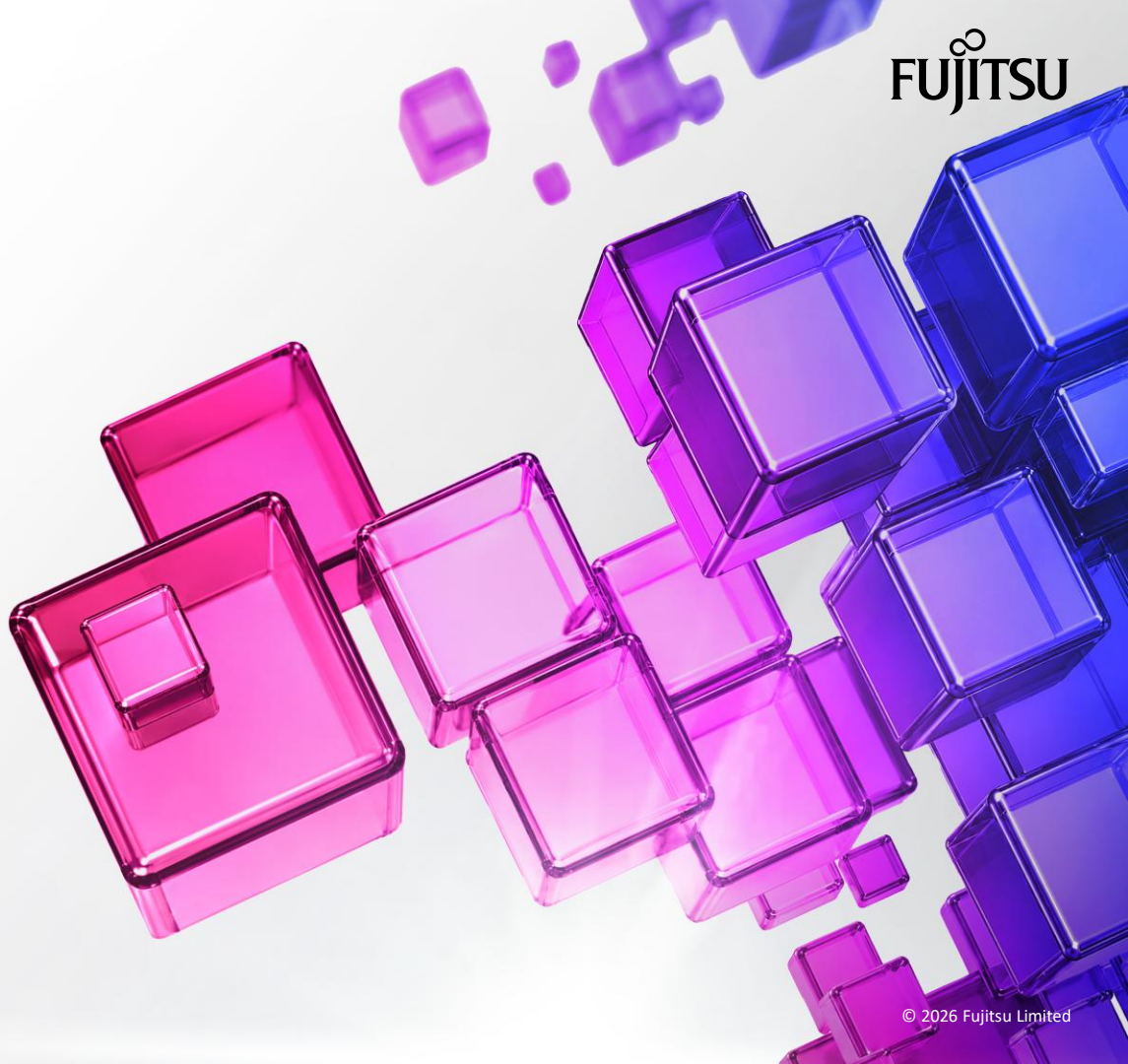


M-04

Fujitsu Experience Day 2026

FUJITSU

COBOL・JCL資産を 見える化し 全体像を把握



Fujitsu Software SIMPLIA

CP-PROGRAM,DF-JOBFLOW

お客様課題

- 現行システムの仕様把握ができない
- 仕様理解をしたいが設計書が古い または 存在しない

提供機能

- レガシー資産を設計書出力

特長/強み

- お客様の資産から設計書を出力するため正しい設計書の作成が可能
- 富士通のメインフレームに対応
- JCLを入力にしたジョブのフロー図やCOBOLを入力にした各種設計書を出力

- **ドキュメントとコードの乖離**

設計書とソースコードの不一致が、システム理解や影響調査を困難にする。

- **既存資産の活用難**

設計書の不在や陳腐化により、既存システムの再利用・移行が阻害される。

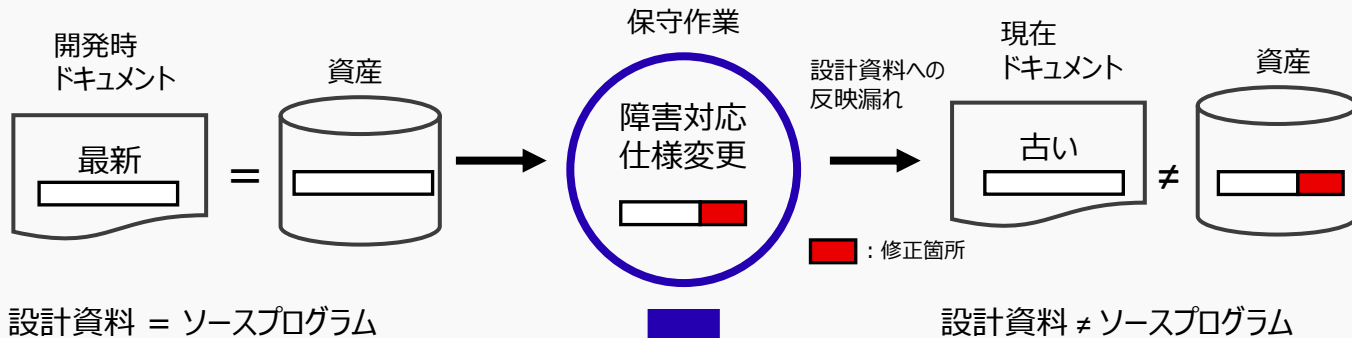
- **ドキュメント作成負荷**

現行仕様把握のドキュメント作成に時間がかかり、モダナイプロジェクトの進行を圧迫する。

CP-PROGRAM、DF-JOBFLOW
がお手伝い致します。

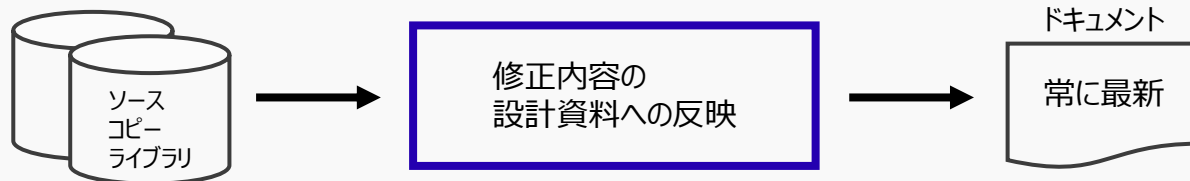
解決へのアプローチ（COBOL資産の場合）

従来



CP-PROGRAM

CP-PROGRAM使用时



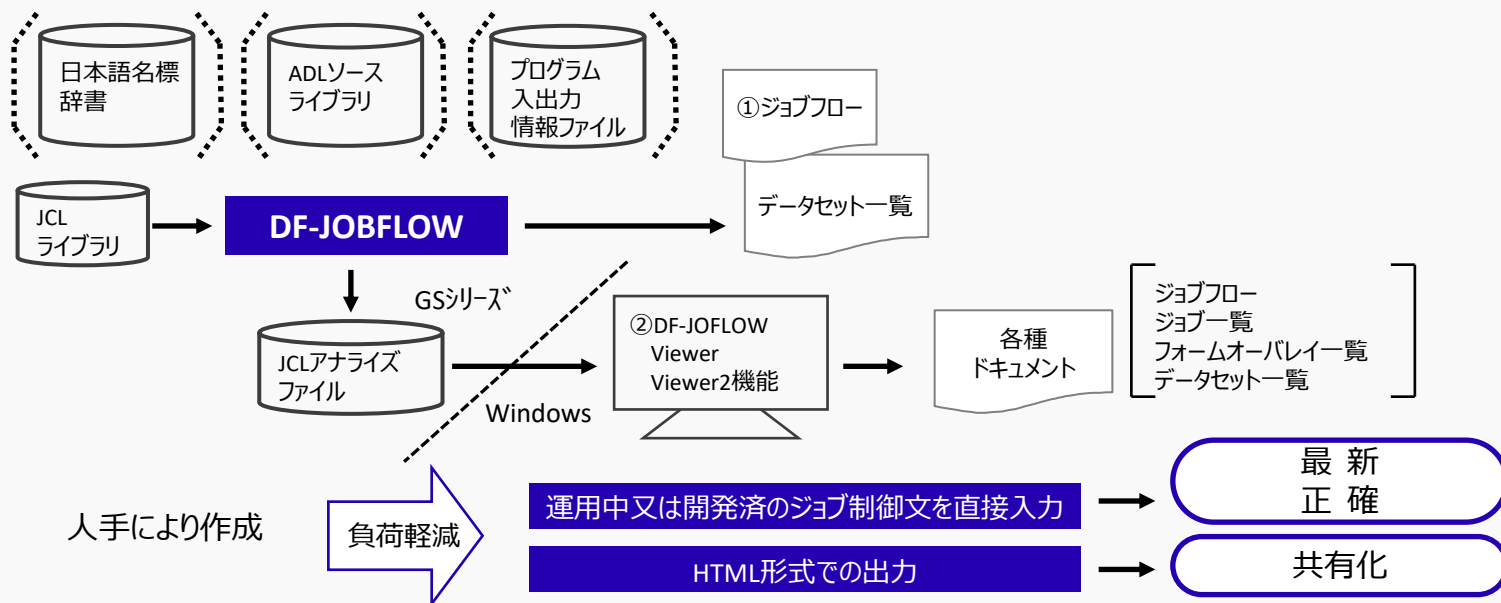
ソースプログラム = 設計資料

※設計書の修正不要

➡ 動いている資産から出力するため最新のドキュメント出力が可能

ジョブ制御文（JCL）を解析して、

- ① NLPプリンタからジョブフローとデータセット一覧の印刷
- ② HTML、Word/Excel形式のドキュメントを出力



期待効果（COBOL資産の場合）

1 常に資産と一致したドキュメント出力

お客様の資産であるCOBOLソースプログラム及びコピー句からドキュメントの自動作成

2 豊富なドキュメント出力

利用目的に応じた帳票を選択可能

3 ソースプログラムと帳票との整合性が確認可能

CP-PROGRAMの各帳票が最新状態にあるかどうかのチェックが可能

4 ソースプログラムの解析結果が保存可能

ソースの解析結果を保存するので同一帳票の再出力時に解析が不要

5 日本語による出力

日本語での出力が可能なのでプログラム内容の理解が容易

1 正確なジョブフローの作成

実際に運用しているJCLよりジョブフローを**自動生成**

SIMPLIA DF-PROGRAMで作成したCOBOLプログラムのファイル入出力情報を反映することで、ファイルの入出力判定の精度を向上させたジョブフロー出力も可能

2 出力範囲の指定が豊富

メンバの最新更新日付やメンバ名又はその範囲の指定が可能

3 日本語名出力

利用者が保有する日本語名標辞書より、プログラム名やジョブ名、データセット名に対応する日本語をドキュメントに出力

4 パソコン上で結果を加工

JCLを解析した結果（JCLアナライズファイル）を入力し、Windows上のDF-JOFLOWのViewer、Viewer2機能を使用して、各種ドキュメントをHTML形式、Word、Excel形式で出力できるため、ドキュメント修正時間の短縮やドキュメントの共有化が可能

モダナイゼーションに関するご相談・お問合せは
こちらにお願い致します

モダナイゼーションイベント事務局

・e-mail : contact-fjpp-moder@cs.jp.fujitsu.com

Thank you

